

沢中だより

令和5年4月21日発行

〒989-3211

仙台市青葉区赤坂1丁目2番地の1

TEL 022-394-2226

FAX 022-391-3256

e-mail oosawa-jh@sendai-c.ed.jp

【学校教育目標】 自他を愛し、主体的に社会と関わり、他者との対話を通して未来を創造していく生徒の育成

令和5年度がスタートしました

今年度は130名の新入生を迎え、全校生徒346名、教職員39名でスタートしました。新年度が始まって10日ほど過ぎましたが、学校全体が新鮮な雰囲気になっています。

さて、令和5年度の学校教育目標は、これまでの教育目標を一新し、「自他を愛し、主体的に社会と関わり、他者との対話を通して未来を創造していく生徒の育成」と設定しました。育成を目指す資質能力として、①自分を見つめ大切にし、他者への思いやりができる想像力、②自ら課題を設定し、主体的に学ぶ意欲、③多様な他者との対話を通して社会をより良いものに使用とする姿勢、としています。詳しくは裏面をご覧ください。

私たち学校も、これまで以上に生徒に寄り添いながら、生徒と共に学び、自らを高める教師集団でありたいと考えています。これまでと同様、学校・家庭・地域の三者が一体となって、生徒たちの社会的な自立に向け、諸活動に取り組んでまいりたいと考えています。家庭と地域の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

着任式・始業式・入学式

4月10日(月)は着任式・始業式、11日(火)は第77回入学式をそれぞれ行いました。

今年度は、これまで行ってきたコロナ禍による制限を緩和し、体育館に一同が集まって、内容もコロナ禍以前の形に戻して行うことができました。

始業式では、松崎校長が、「自分も周りの人も大切にしてほしい、自分事として物事に関わってほしい、周囲とコミュニケーションをとりながら、前向きな提案をどんどんだして大沢中を創ってほしい」とのメッセージを在校生に送りました。

入学式では、新入生は緊張した面持ちでしたが、担任からの呼名に応える返事からは、これから始まる3年間の生活への意気込みが感じられました。また、新入生代表の誓いの言葉も同様に期待に満ちた内容で、発表も堂々としたものでした。これからの学校生活を通して、個々がそれぞれのペースで成長していくことを願っています。



転入職員紹介

☆9名の教職員が着任しました。

教諭(保健体育)	伊藤真寿美	(青陵中から)
教諭(数学)	奥野 明人	(第一中から)
教諭(数学)	小畑 達哉	(加茂中から)
教諭(国語)	佐藤 花保	(新規採用)
教諭(社会)	飯田 章乃	(南光台中から)
教諭(初任者指導)	伊澤 正人	(長町中から)
講師(美術)	鹿目 節子	(錦ヶ丘中から)
講師(音楽)	菅原 麗	(新規採用)
給食搬送パート	堀田 幸甚	(新規採用)

よろしくお願いいたします！

お知らせ・お願い

☆大沢中学校では、生徒の安全対策として、以下の取組を行っています。

- ・一斉メールの配信(熊・不審者の出没時等)
- ・携帯電話の許可制度(要申請)
- ・防犯カメラの設置(昇降口付近)
- ・自転車点検(協力:交通安全協会大沢支部)

☆「欠席の連絡」について(お願い)

「体調不良」による欠席について、「かぜ症状(発熱、咳、頭痛、腹痛)の有無を欠席連絡時にお伝え願います。

問合せ先: 教頭(小山)

毎月の予定については、本校HPで御確認ください。また、同HP内の「沢中Now(ブログ)」にて、学校生活のようすを紹介しています。こちらをご覧ください。更新は平日の毎週火曜日・木曜日です。

第三者への公開・開示や不当な目的利用、複写および複製等はお断りします。

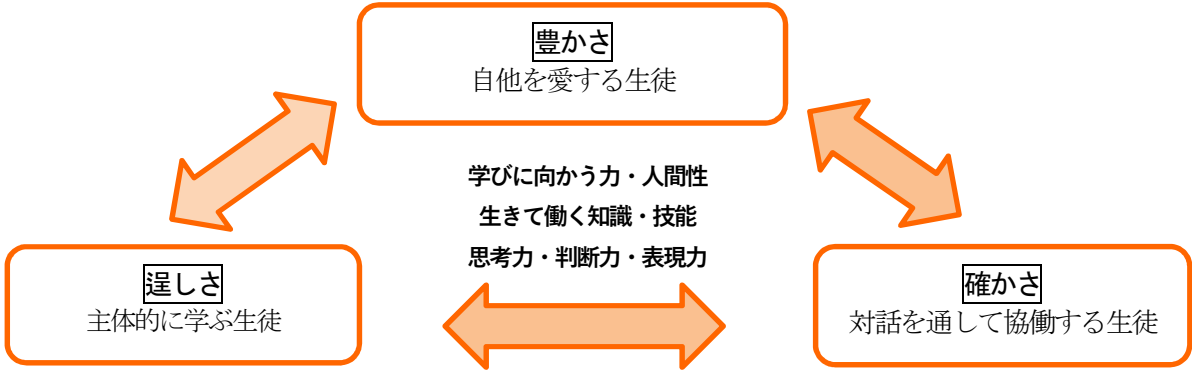
令和5年度 学校経営計画（グランドデザイン）

仙台市立大沢中学校

<学校教育目標>
 自他を愛し、主体的に社会と関わり、他者との対話を通して未来を創造していく生徒の育成

<育成を目指す資質能力>
 (1) 自分を見つめ大切にし、他者への思いやりができる想像力
 (2) 自ら課題を設定し、主体的に学ぶ意欲
 (3) 多様な他者との対話を通して社会をより良いものにしようとする姿勢

<目指す教師像> 生徒に寄り添いながら、生徒と共に学び、自らを高める教師



令和5年度 研究主題
 自ら課題を設定し、主体的に学ぶ生徒の育成
 ～ 活動の振り返りを行い、新たな課題を設定する力の育成を通して ～

令和5年度 重点目標

<学校で目指す重点目標>

重点目標1
豊かさ：自他を愛する生徒の育成
具体の取組
<ul style="list-style-type: none"> ○教育相談を通じた個別支援の充実 ○互いに高め合う、学年、学級、部活動づくり ○自己を深く見つめる道徳科の推進 ○自主学習ノート、フォーサイトノートを活用した教育相談機会の充実 ○自信を育てる言葉がけ ・ペップトークの活用 ○不登校生徒支援の充実

重点目標2 * 令和5年度重点目標
遅しさ：主体的に学ぶ生徒の育成
具体の取組
<ul style="list-style-type: none"> ○<u>教科及び学級において活動を振り返る場面の設定</u> ○各教科を学ぶ意義が分かる授業実践 ・主体的で対話的な深い学びの視点 ・各教科における見方・考え方の育成 ・見通しをもった学びと、自分の学びを振り返る学習活動の自己調整能力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・学び方を学ぶ ○授業規律の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・学習、授業ルールの徹底 ○自己決定の場の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・自主学習ノート、フォーサイトノート等) ○時短、主体的な部活動運営

重点目標3
確かさ：対話を通して協働する生徒の育成
具体の取組
<ul style="list-style-type: none"> ○話し合い活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・学習形態、展開の工夫 ○協働活動を通じた3大学校行事の推進 ○ボランティア活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアカードの活用 ・学校支援地域本部との連携